

## 日本看護技術学会第 23 回学術集会

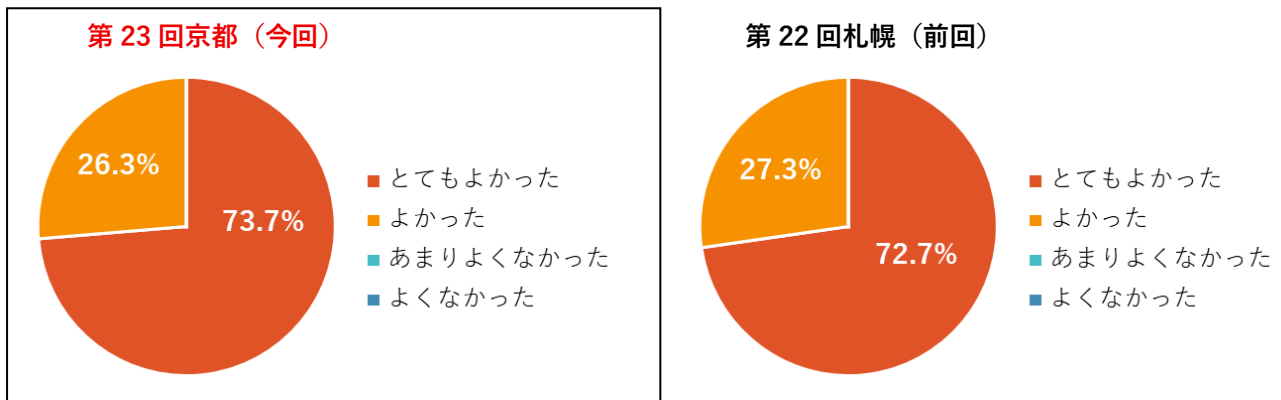
### 交流セッション「温罨法の“今”を共有する－エビデンスと実践例から考える可能性－」

開催日時：2025 年 10 月 12 日(日)14 時 50 分～15 時 50 分

回答方法：Google フォーム

回答数：19（参加者：約 40 名）

#### 1. 本日の内容はいかがでしたか？

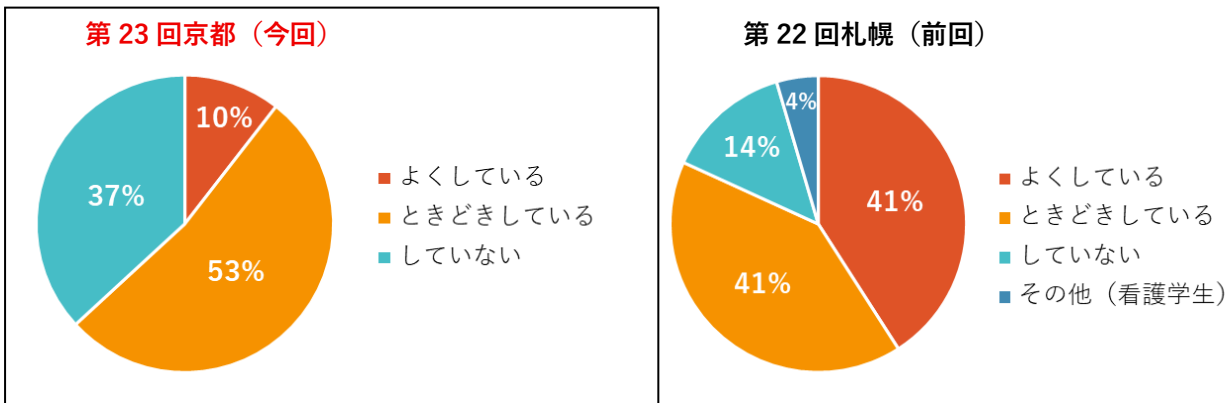


#### 2. 上記の回答の理由をお聞かせください。(15 件)

臨床の実践例が素晴らしかった
実際の事例があったので、わかりやすかった。
事例があったので具体的に良かったです。
臨床での事例もあり、温罨法の可能性を感じた。
実際に温罨法を使用して患者さんの状態が改善したといったことを聞いて実際に自分も臨床現場で使ってみたいと思いました。
温罨法のメリットがこんなにあることを知らなかったため、知ることができて良かった
温罨法の効果がすごいことがわかった。臨床でもやってみようと思った
臨床での事例や、禁忌などが学べて良かった
腹部を温める以外の温罨法の方法を知ることができて良かったです。
和温療法がわかった
今後の看護で実践したいと思った
気持ちいいケアは大好きだから
温罨法で火傷する事例が病院であったがグラフや現在 わかってる事例から説明を受けることができたため。
温罨法が有用なのは理解できました、是非活用したいですが、実践方法など、疑問質問が沢山あります
せん妄予防になったりときっといいことはたくさんあるのだと思うのですが、病院では難しいなと思います。

### 3. 普段、温罨法をどの程度していますか？

※教員の方は「よく教えている」「時々教えている」「教えていない」に読み替えて回答してください



### 4. 上記で「していない」（教員は「教えていない」）と回答した方はその理由をお聞かせください。（5件）

臨床でできる時間が取れない（非会員，急性期病院）
熱々のお湯が出ないし、温度を測る術が現状なし（非会員，急性期病院）
便秘と思って温罨法をしたところ、消化管出血で、医師に温罨法の指示ないのにやったのかと怒られたスタッフがいてみんながやりにくくなってしまった。（非会員，急性期病院）
効果があまり無いと思った（非会員，慢性期病院）
病棟 全体でホットパックでの火傷事例があったため 使用中止になった。それ以外の温罨法も火傷の危険性から中止になった。（非会員，慢性期病院）

### 5. 温罨法の実践や教育、研究に取り組む中での疑問や困難に感じていることがあればお聞かせください。

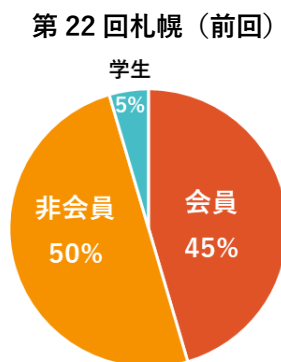
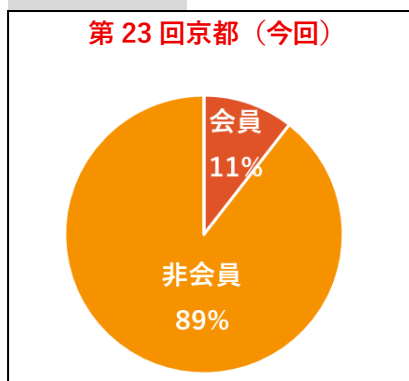
(5件)

やっていきたいです（非会員，教育・研究機関）
安全性とのバランスと指導者の理解（非会員，教育・研究機関）
タオルは全て有料でありホットパックでしか実施ができません。（非会員，急性期病院）
物品。簡易的、低コスト、かかる手間のハードルが高すぎる（非会員，急性期病院）
資材不足(タオルがない、ホットパックがない（非会員，急性期病院）

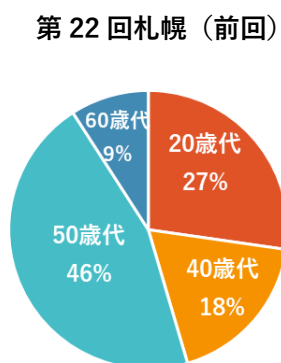
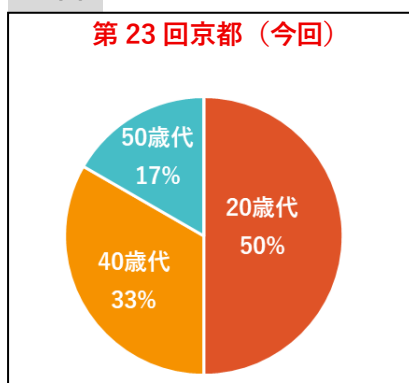
### 6. 温罨法に関して今後取り上げて欲しいテーマなどがあればご自由にお書きください。（3件）

小児の事例についても知りたい（非会員，急性期病院）
小児科におけるホットパックの有用性（非会員，急性期病院）
最後に、頻尿に効果的だったという話がちらっとあって、もっと話が聞きたかった（非会員，急性期病院）

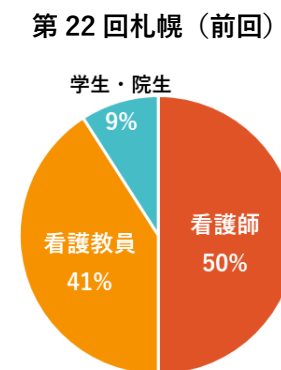
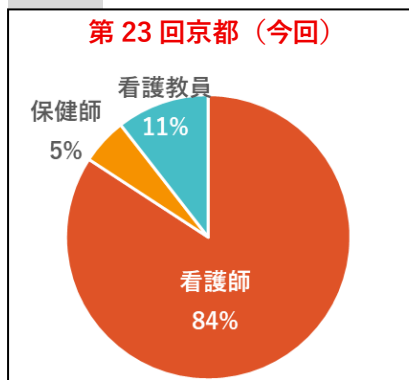
## 7. 会員の種別



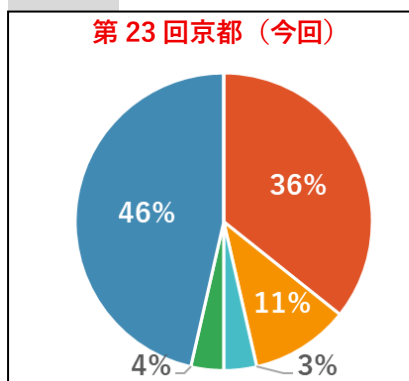
## 8. 年代



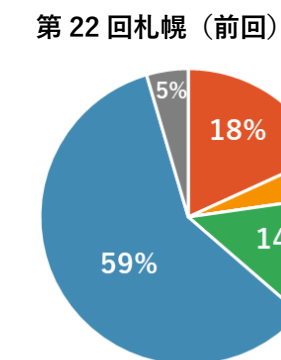
## 9. 職種



## 10. 所属



- 急性期病院
- 慢性期病院
- 回復期病院
- 訪問看護ステーション
- 教育・研究機関
- その他



以上